全学年　特別の教科道徳　ガイダンス・シラバス

担当　各学年道徳担当

1　学習のねらい

・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度を育てる。

2　学習の進め方

・物語や資料を読んで自分のこととして考える。
・主発問について自分の考えを持ち、話し合いやホワイトボード、タブレット端末等を活用しながら、多面的・多角的な考えに触れる。
・考えを深めるため、以下のような活動を適宜行う。
　〇生徒自身の思索
　〇グループでの話し合い
　〇教師と生徒の考えや意見の交換
・今日の授業で気付いたこと、考えたことをワークシートにまとめる。

3　評価について

（1）考え方

・授業で考えたことについて、授業者が評価を行う。
・生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として記述式で行う。
・一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視する。

（2）視点

・一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか
①道徳的価値に関わる問題について、判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしている。
②自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている。
③複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている。
・道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか
①教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている。
②現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考え方を見直している。
③道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めている。
④道徳的価値を実現することの難しさを、自分のこととして捉え、考えようとしている。